

**4 安全・安心**

『安全・安心笑顔のらんざん』についてましても、防災・減災事業として平成30年度よりの3年間で、防災行政無線のデジタル化更新事業を実施してきました。防災・減災事業として平成30年度よりの3年間で、防災行政無線のデジタル化更新事業を実施してまつたことは、今まで以上に地域と連携して交通安全に対する啓発、自主防犯組織の運営に対する啓発、学童保育における指定管理者制度の導入、国民健康保険特別

**4 笑顔のらんざん**

安全・安心




武藏嵐山駅西口

また、らんざん活性化チームプロジェクトとして活動する町おこしティックターによる、地域資源の掘り起こしや、嵐山町の魅力度アップへの取り組みを積極的に支援してまいりました。



防災行政無線

きましては、防災・減災事業として平成30年度よりの3年間で、防災行政無線のデジタル化更新事業を実施してまつたことは、今まで以上に地域と連携して交

ります。新電波規格に対応可能なデジタル方式に、町内全箇所の防災行政無線を順次更新し、災害緊急時に速やかに対応できるように整備いたしました。平成30年度には、埼玉県企業局との調整を図りながら用地取得等に着手し、雇用の創出や税収の確保など企業誘致の成果が早期に得られるよう推進しています。



地域のパトロール活動

と、様々な分野でお互いに協力し、協働した取組みを行つことにより、地方創生の実現に資する目的として締結いたしました。包括的な連携のもと、その中の連携及び協力事項のひとつに「安全・安心なまちづくりに関すること」も含まれてることから、これまで以上に地域と連携して交

以上、平成30年度の町政運営に関する基本的な考え方と、平成30年度予算の概要を近未来の嵐山づくりに欠かせぬ4つの柱に沿つて申し上げました。私は近未来を展望し、町民福祉の向上、この一点を心懸に据えて、町政運営に取り組む決意でござります。議員各位を始め町民の皆様には、引き続き特段のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げ、平成30年度の施政方針とさせていただきます。

平成30年2月26日

嵐山町長 岩澤 勝

今年度事業の地域活力創出拠点がもなく完成し、嵐山町のたくさんの魅力を町内外に発信し始めます。観光総合案内のみではなく、就労・居住の相談、町の地域資源をつなげる拠点、高齢者や駅利用者の憩いの場など、「多目的」「多世代」の交流拠点として多くの皆様に活用していただければ大変ありがたいと期待しております。



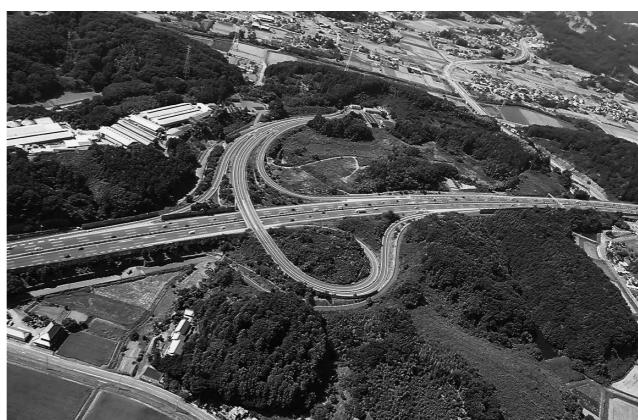
ラベンダー農園「千年の苑」

『稼ぐ力の産業振興』につきましては、事業を開始して3年目を迎えます「千年の苑」に要する経費を、引き続き地方創生推進交付金を活用し、ラベンダーの植栽、遊歩道等を整備いたします。平成31年の本格オープンに向けて、6月にはプレオープンイベントを予定するなど、本州以南最大規模となるラベンダー農園に多くの方が訪れていただけるように準備を進めてまいります。

**稼ぐ力の産業振興**



企業誘致につきましては、インター チェンジ周辺地区の法手続や、開発事業者との調整による企業誘致を進めています。



嵐山小川インターチェンジ (内田泰永氏 撮影)

花見台工業団地の拡張につきましても、繰越事業にて現況測量及び都市計画変更資料等の作成を進めてまいりました。平成30年度には、埼玉県企業局との調整を図りながら用地取得等に着手し、雇用の創出や税収の確保など企業誘致の成果が早期に得られるよう推進してまいります。



花見台工業団地 (内田泰永氏 撮影)

**3 発信する町**

『賑わい活力を発信する町』につきましては、町の玄関口、町の顔に当たります駅周辺の活性化に取り組んでまいります。

駅周辺は、嵐山町を訪れる人が最初に抱く町の印象に大きく影響する場所であり、また以前より町民の皆様からの整備に対する期待も非常に高い場所でもあります。



『賑わい活力を発信する町』につきましては、町の玄関口、町の顔に当たります駅周辺の活性化に取り組んでまいります。駅周辺は、嵐山町を訪れる人が最初に抱く町の印象に大きく影響する場所であり、また以前より町民の皆様からの整備に対する期待も非常に高い場所でもあります。



武藏嵐山駅に建設中の地域活力創出拠点施設 (3月13日撮影)

平成30年度は、一般県道 武藏嵐山停車場線の拡幅整備を含む周辺地区的整備計画の作成と駅西口広場の整備にかかる用地の取得に着手いたします。